

ご案内

20世紀は、核兵器が生み出された「戦争の世紀」でもありました。原爆が投下されたヒロシマ・ナガサキをはじめ日本中の街が爆撃されて、国内だけで約50万人とも言われる尊い命が奪われました。

この岐阜市も例外ではなく、ひと晩で街が焼け野原と化した『岐阜空襲』として語り継がれています。

以来、年月を経て各方面のご協力により、『岐阜空襲』当時を色濃く残す品々を集め展示することができました。生々しい戦争の爪跡を感じていただける資料の数々です。ぜひ多くの方にご覧いただき、平和への願いを新たにすきっかけになることを願っております。

平和都市宣言

緑豊かな金華山と清流長良川に代表されるわたしたちのふるさとは、自由と平和をとうとぶ風土をはぐくみ、活力に満ちた住みよいまちづくりを目指しています。

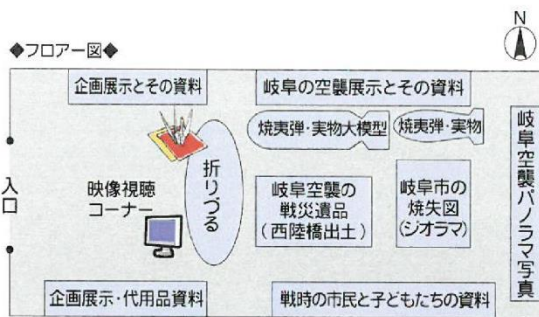
この美しい自然を愛し、自由と平和を求める心はわたしたちのみならず、人類共通の願いであります。

わたしたちの岐阜市は、世界の各都市と友好・姉妹都市提携を進め、相互の信頼を深めつつ平和への道を歩んでいます。

市制施行100年を迎えるに当たり、すべての核兵器と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言します。

昭和63年7月1日 岐阜市

岐阜市平和資料室



岐阜市平和資料室

〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエアG(2階)

■開館時間 午前9時～午後9時

■休館日 毎月最終の火曜日 年末年始(12/29~1/3)





〈平和の折りづる〉

入口から正面にあります。市内外の市民や子どもたちから、平和を願って毎年寄せられます。

〈企画展と常設展〉

折りづるから手前が〈企画展〉。毎年7月20日ごろ(夏休み開始時期)に新しく展示替えしています。その奥が〈常設展〉。「岐阜空襲と戦時の暮らし」がテーマです。

◆岐阜空襲は、このように行われました。

米航空軍第21爆撃機集団「作戦任務報告書」より作成

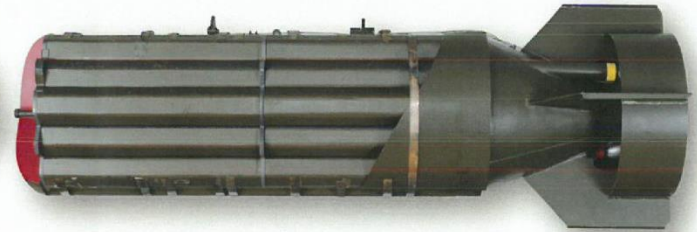
攻撃部隊	第21爆撃機集団 第314群団
爆撃機数	129機 (マリアナ基地発進機数/135機)
攻撃日時(日本時間)	7月9日23時34分～10日0時20分
爆撃投下高度	4,000m～5,300m
天候	晴れ、視界を妨げるものなし
爆撃中心点(MMP)	061062(徹明町通りと金華通りの交差点)
投下弾	
E46集束焼夷爆弾	2,387発 513.6トン
M47焼夷爆弾	12,221発 436.8トン
計	14,608発 950.4トン
与えた損害	5.34km ² 市街地 5.00km ² (市街地の74%) 周辺地 0.34km ² 岐阜駅および広場、共同毛織、富士ガスなど市内の16工場を破壊した。 (商店街、住宅地への攻撃には触れていない)

しょうい だん
1. 焼夷弾



〈上〉M-47 焼夷弾：実物

〈右〉E-46 集束焼夷弾：実物大模型



2. 戦時の暮らしと子どもたち 生活用品も、子どものおもちゃも、「戦争一色」でした。



土人形
日本の兵隊さんが、敵をやっつけています



爆弾型の貯金箱



〈上〉将棋のコマ
「地雷」「スパイ」「軍旗」。遊びも戦場用語を使います。

〈左〉子どもの茶わん
戦車の絵が描かれたものや、ふせると当時の日本軍の鉄カブトの形になるものも。



戦時のチラシ
市民の気を引き締めるため、町内の家々に回覧されました。



千人針 糸の結び目をぬい付けた布。多くの女性にぬってもらうと、兵士の「弾よけ」になると言われました。

3. 戦災の遺品



〈左〉焼けたコンパクト
中には焼けた、当時の新聞が入っています。パフの代用品です。

〈下〉溶けたガラスピン
空襲の高熱で、ピンも溶けました



4. 代用品

戦争がはげしくなると、兵器を造る金属が不足します。そのため日本中の家庭からナベや鉄板など金属製品を提供させて兵器に変えました。生活用品を、ガラスや陶器などで造ったものを、「代用品」と言います。落としたり割れる、危険な物でもありました。

〈右上〉陶器の「一銭硬貨」
〈右下〉ガラスの水とう

貝からの「おたま」
これで、みそ汁などをすきました。「おまご」とのようですね。

